

各 位

会 社 名 株式会社アマナ  
 代 表 者 代表取締役社長 進藤 博信  
 (コード番号 2402 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役Platform Design 部門担当  
 石亀 幸大  
 (TEL. 03-3740-4011)

## 営業外収益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第3四半期決算（2020年1月1日～2020年9月30日）において、営業外収益を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2020年8月14日に公表いたしました「2020年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2020年12月期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益の計上について

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等の支給申請の実施により、連結決算において、助成金収入75百万円を営業外収益として計上いたしました。

#### 2. 業績予想の修正について

##### (1) 2020年12月期通期連結業績予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想（B）	17,000	△1,750	△1,800	△2,800	△563.07
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（％）	—	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2019年12月期）	23,031	97	11	△223	△45.01

##### (2) 修正の理由

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社の業績への影響について不確実性が高く、合理的に算定することが困難であったことから、2020年8月14日付「特別損失・法人税等調整額の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」において一旦取り下げ、未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定し、公表することといたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業及び制作活動が一部制限も受けるなかで、第2四半期連結会計期間以降の受注高が減少し、当第3四半期連結累計期間の売上高は大幅な減少となりました。

国内の受注高の推移では、緊急事態宣言が発令されていた期間を含む第2四半期連結会計期間において前年同期比30%を超える減少であったことに対して、第3四半期連結会計期間以降においては前年同期比20%程度の減少となるなど、段階的な回復傾向が継続していますが、受注から企画制作を経て納品を完了するまでの一定の期間を鑑みると、来期において売上高計上となる案件も一部見込まれることから、当連結会計年度における売上高は前期比で第3四半期連結累計期間と同等程度の下落率の水準を予想しております。

費用に関して、売上原価については、グループ内制強化や外注費コントロール施策を推進し、販売費及び一般管理費については、業績進捗を勘案した賞与の抑制や、業務委託費や活動諸費の見直しなど経費削減を推進しておりますが、売上高の大幅な減少に伴い、当連結会計年度における営業損益及び経常損益は第3四半期連結累計期間における損失から膨らむことを予想しております。

さらに、2020年12月1日付「特別調査委員会の調査状況及び委員構成の一部変更・追加に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、不適切な会計処理の判明により、特別調査委員会を設置し網羅的な調査を徹底してきたことに係る調査関連費用の計上も今後見込まれることから、当連結会計年度においては大きな親会社株主に帰属する当期純損失の計上を予想しております。

以 上